

令和六年茨城県支部吟行俳句大会成績（事前投句）

日時

令和六年十月二十五日

場所

小美玉市・農村環境改善センター

本部選者

甲斐由起子（俳人協会幹事）

甲斐由起子特選（本部選者）

夏の果点字それぞれ影を持ち

石塚 一夫

紫陽花のどさりと水をこぼしけり

平野 悦子

白雲の底とつながり蕎麦の花

喜多 杜子

大竹多可志特選

夫に背を押されて入る踊の輪

久保田至誠

被災地にもどる笑顔やかき氷

石塚 一夫

白服も黒服も染み残りをり

関 千種

笹川昌子特選

子に告げしこれからのこと草を刈る

中村 孝道

夫に背を押されて入る踊の輪

久保田至誠

巻き戻す映写機の音年つまる

橋本 和子

天下井誠史特選

片陰を拾ひつつゆく乳母車

東海林茂美

空蟬や爪の先までがらんどろ

北浦 残月

老いといふ衣脱ぎたし水中花

早田維紀子

桜井筑蛙特選

ふと母もゐるやに思ふ盆三日

永井 弘子

新涼や白壁つづく蔵の街

大山とし子

雨音のまたひとしきり破芭蕉

山城 啓子

小川みのる特選

空蟬や爪の先までがらんどろ

北浦 残月

飛田伸夫特選

汽水湖に鳶の高鳴く晩夏かな

小川みのる

坂場俊仁特選

胡麻を干す四隅に石のおさへかな

喜多 杜子

永山憲子特選

夏の果点字それぞれ影を持ち

石塚 一夫

矢須恵由特選

大水車みどりの風も回しけり

安彦 昭子

岡崎 桂子特選

往還を狭しとおわら風の盆

小島千代乃

松浦敬親特選

種茄子の艶をなくして太りけり

網代奈津江

鹿熊登志特選

麒麟舎を囲む園児の夏帽子

飛田 伸夫

草野 大作特選

残暑なほ風呼ぶ如く象の耳

由木 まり

久保田 至誠特選

明滅の滅のあえかに蛍とぶ

印南 美都

大山とし子特選

名水のありあまる世や原爆忌

山崎マサ子

大西朋特選

檀特やこの晴天に目まひして

北浦 残月

清水仙里特選

手ざはりの細りてさびし洗ひ髪

宇田川節子

栃木絵津子特選

夫に背を押されて入る踊の輪

久保田至誠

平野悦子特選

新涼やラスクと白きティーポット

浅野とし子

和田ゑみこ特選

カーブミラー法師蝉鳴きはじめてたり

竹前 光男

井川水衛特選

麦秋やすきなところに停まるバス

平野 悦子

永井弘子特選

白雲の底とつながり蕎麦の花

喜多 杜子

入選作品（1位～18位）

椅子足してはなしのつづく夕端居	中村 孝道
麒麟舎を囲む園児の夏帽子	飛田 伸夫
極上の大き押印今年米	大島 良子
峰雲を蹴つて少女の逆上がり	飛田キミ子
夫に背を押されて入る踊の輪	久保田至誠
ひぐらしや壁に長寿の十箇条	中村 孝道
夏の果点字それぞれ影を持ち	石塚 一夫
空蟬や爪の先までがらんだう	北浦 残月
汽水湖に鳶の高鳴く晩夏かな	小川みのる
片陰を拾ひつつゆく乳母車	東海林茂美
麦秋やすきなところに停まるバス	平野 悦子
表具屋の古き看板吊忍	東海林茂美
品書きは店主の手書き冷奴	横田 和己
持て余すものに田畑よ秋の蝶	永井みどり
白雲の底とつながり蕎麦の花	喜多 杜子
新涼や白壁つづく蔵の街	大山とし子
雨音のまたひとしきり破芭蕉	山城 啓子
胡麻を干す四隅に石のおさへかな	喜多 杜子

令和六年茨城県支部吟行俳句大会成績（当日句）

甲斐 由起子特選

二張りのテントの露店秋桜	飛田 伸夫
コスモスの風や鳥獣供養塔	天下井誠史
戦なきコスモスの香となりゐたり	平野 悦子

大竹多可志特選

子が母に母が子に摘む秋桜	高野よしこ
コスモスは希望の色と思ひけり	井川 水衛
石棺の出土の丘や鳥わたる	和田忍みこ

小川みのる特選

コスモスは希望の色と思ひけり

井川 水衛

飛田伸夫特選

小美玉の人のやさしさ秋ざくら

和田ゑみこ

坂場俊仁特選

子が母に母が子に摘む秋桜

高野よしこ

永山憲子特選

コスモスの風や鳥獣供養塔

天下井誠史

大山とし子特選

コスモスや休耕田にある出会ひ

大島 良子

栃木絵津子特選

風の吹くたびにふくらむコスモス田

小川みのる

平野悦子特選

コスモスの風や鳥獣供養塔

天下井誠史

和田ゑみこ特選

筑波嶺に雲の無辺や秋桜

甲斐由起子

井川 水衛特選

手前より奥美しき花野かな

坂場 俊仁

永井弘子特選

ゆれ合へる希望が丘の秋桜

関 千種

入選句（1位～16位）

子が母に母が子に摘む秋桜

高野よしこ

二張りのテントの露店秋桜

飛田 伸夫

手前より奥美しき花野かな

坂場 俊仁

水音をいつも身近に秋桜

栃木絵津子

コスモスの風や鳥獣供養塔

天下井誠史

丘公園に慈母観音堂小鳥来る

大島 良子

コスモスを揺らして風の抜ける道

村田 妙子

コスモスは希望の色と思ひけり

井川 水衛

小美玉の人のやさしさ秋ざくら

和田 忍みこ

曇天やコスモス飾る直売所

柳田 富枝

コスモスや休耕田にある出会ひ

大島 良子

戦なきコスモスの香となりみたり

平野 悦子

石棺の出土の丘や鳥わたる

和田 忍みこ

風吹けば影の淋しき枯尾花

網代奈津江

ひもすがら風とたはむれ秋桜

小川みのる

ひと群れのコスモス揺らし小鳥発つ

福田 智子